スペアナ用 ロギングソフトウェア
MAS410･510のご紹介

MICRONIX

マイクロニクス株式会社

Ver1.08

ロギングソフトウェア　MAS410・510

1. 概要

スペクトラムアナライザ（MSA400シリーズ）及びシグナルスペクトラムアナライザ（MSA500シリーズ）を制御し、測定データをロギングする為のPC用ソフトウェアです。
昼夜に亘る異常信号、妨害・干渉電波の監視や長時間の無人データ記録用に最適です。

2. システムイメージ

ロギングソフトウェア　MAS410･510

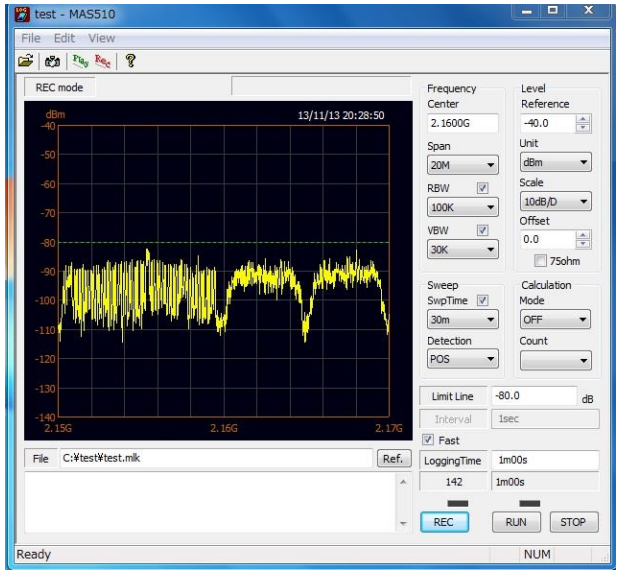
3. 動作環境

対応OS　　:Windows 8･10･11
I/F　　:USB　2ポート以上

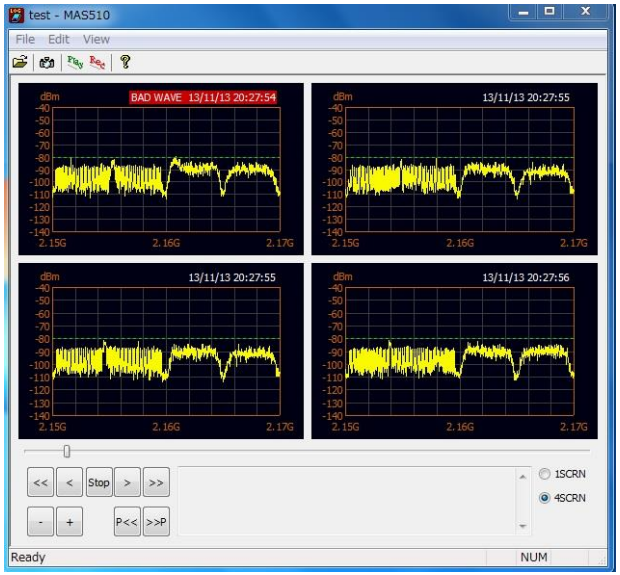
4. ソフトウェア概要

記録モードと再生モードの2画面から構成されています。
記録モードへはUSBドングルキーが装着されたPCのみ移行出来ます（1スペアナ 1ライセンス）。

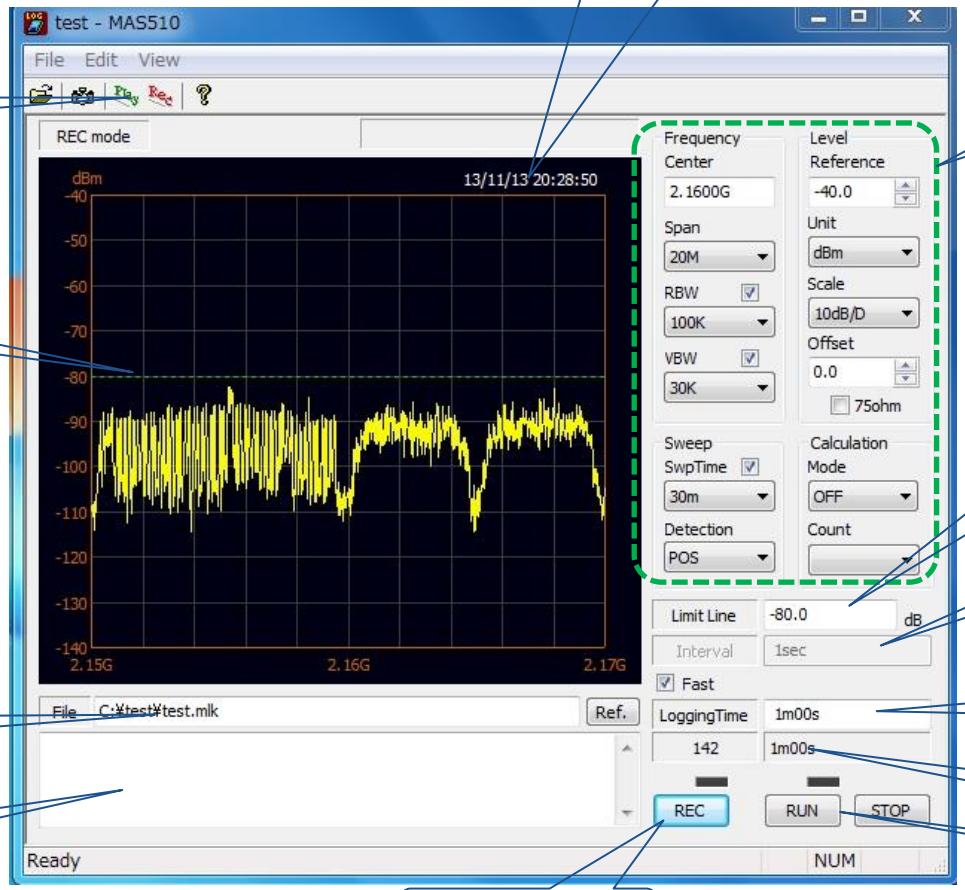
記録モード（設定画面）



再生モード（4画面表示時）



5. ソフトウェア仕様（記録モード）



Windowsに同期した日時

モード選択

アナライザの設定

設定の保存・読出可能

リミットライン

設定された閾値を超した信号を検出すると、異常信号と判断

リミットライン（閾値）の設定

測定時間間隔

最小設定間隔：1秒またはFast Mode

保存先ファイル指定

ログ時間設定

ログ経過時間表示

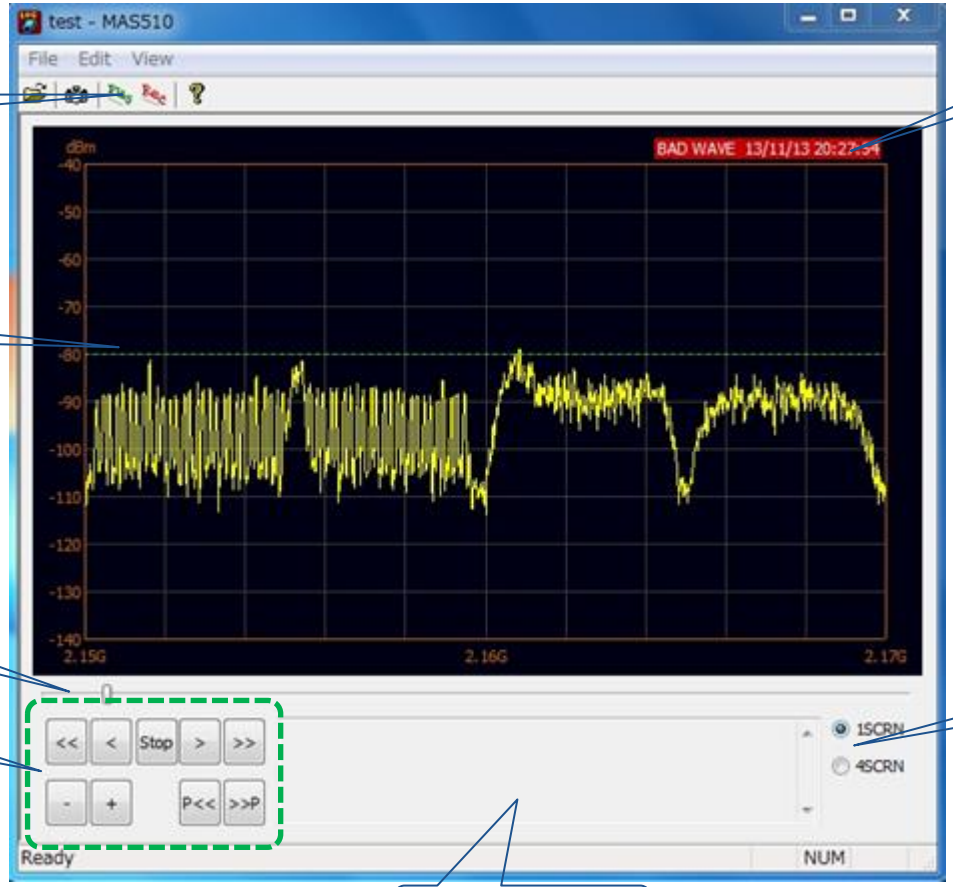
コメント記述欄

動作確認用ボタン

記録開始ボタン

ロギングソフトウェア　MAS410・510

６－１．ソフトウェア仕様（再生モード）



モード選択

“BAD WAVE”
異常信号を認識

リミットライン

設定された閾値を超した信号を
検出すると、異常信号と判断

トラックバー

操作ボタン

早送り/戻り・逆再生・再生・
停止・1コマ送り/戻り・
BAD WAVEサーチ（順/逆）

波形表示数の切替

コメント表示欄

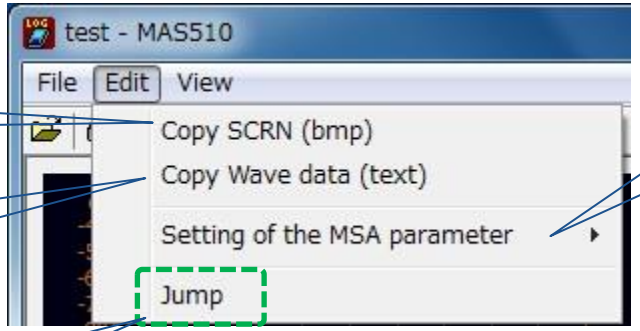
ロギングソフトウェア　MAS410・510

６－２. ソフトウェア仕様（再生モード）

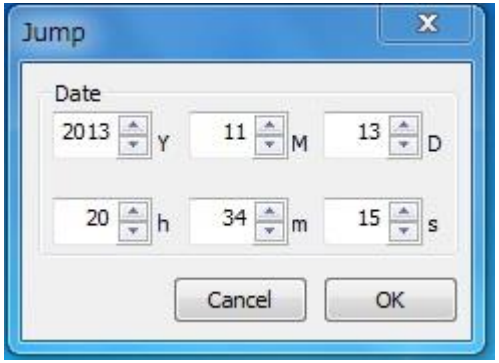
画面イメージをクリップボードにコピー

波形データをテキスト形式で
クリップボードにコピー

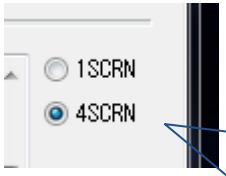
Excel等でのグラフ化に利用可能



アナライザから設定読出、
設定ファイルの保存、
設定ファイルの読出



指定日時の波形データへジャンプ。
膨大な記録データから簡単に任意の時間へ。



4画面表示への切替

7. 記録容量の目安

記録時間（期間）における、記録容量のおおよそは下記の通りです。

※測定間隔（Interval）：1秒

1分	1時間	1日	1週間
60 frame	3,600 frame	86,400 frame	604,800 frame
約70KB	約4.2MB	約100MB	約700MB

8. 補足事項・取り扱い上の注意

・PCにSIOポートが複数ある場合、本ソフトウェアを複数タスク立ち上げてポートを割り振ることにより、複数台のスペクトラムアナライザの制御が行えます。

・本ソフトウェアを連続動作させる場合、スクリーンセーバのログアウト機能がONであると動作が停止してしまいます。長時間動作させる場合にはログアウト機能をOFFにしてください。

・ウイルスチェックソフトウェアが起動又は常駐していると、通信エラーが発生する場合があります。そのような場合はウイルスチェック機能を停止してください。

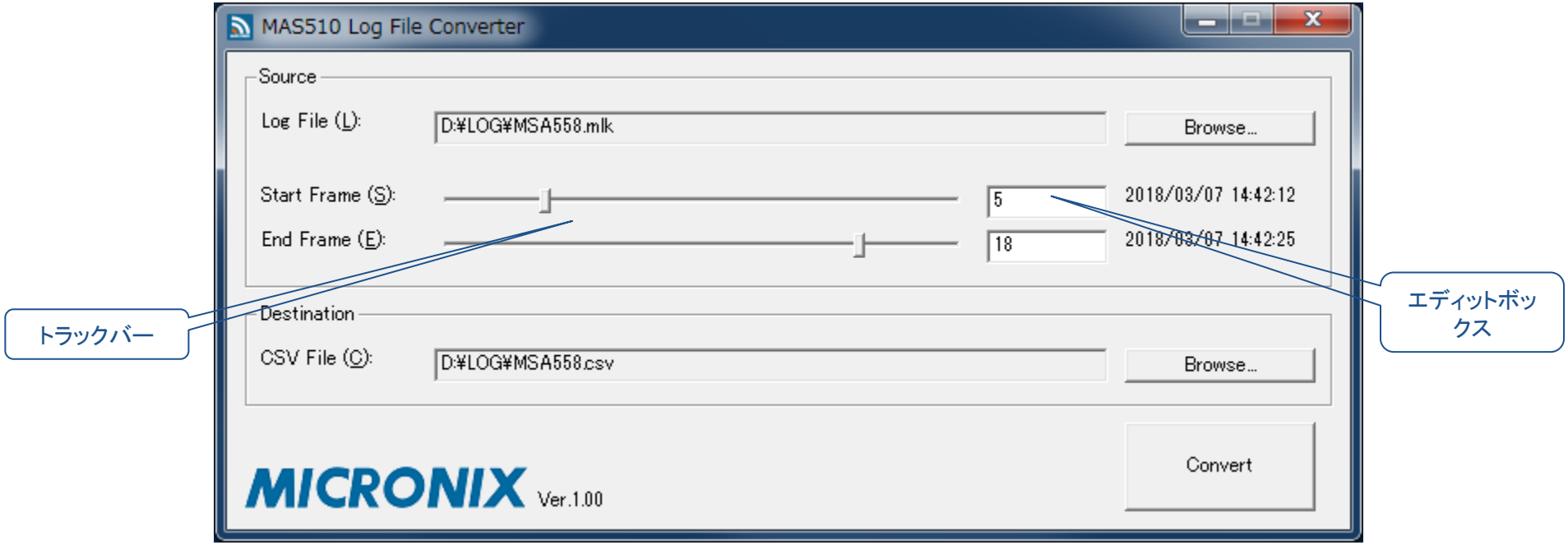
９. システム構成例と価格

	MSA400シリーズ	MSA500シリーズ
本体	¥498,000～¥798,000	¥748,000～¥1,300,000
バッテリ	¥21,600 (Li-ion)	¥21,600 (Li-ion)
ロギングソフト	¥195,000	¥195,000
USBケーブル	¥3,500	¥3,500
アンテナ	別途お問い合わせください	
合計	¥718,100～¥1,018,100	¥968,100～¥1,520,100
スペアナ単体機能・特長	掃引方式 カラーLCD 安価	掃引方式＋リアルタイム方式 カラーLCD ノイズ測定や変調信号測定に

・測定周波数範囲は、3.3GHzモデルと8.5GHzモデルをご用意。
・価格は全て税抜きです。
※IQデータの長時間保存には別途、リアルタイムIQデータレコーダー(MQ5300)をご用意しております。

1. 概要

ログファイルコンバータとはMAS410またはMAS510ロギングソフトで収集したログデータをCSVファイルに変換するPCソフトです。
ログファイルに記録されているフレームのうち、CSVファイルに出力するフレームの範囲を指定します。開始フレーム、終了フレームそれぞれのトラックバーを左右にスライドするか、またはエディットボックスでフレーム番号を指定します。変更しない場合は全フレームが出力されます。



2. 抽出されたCSVデータ

CSVデータは測定条件部と波形データ部で構成されています。

測定条件部

CF　:センター周波数
SPAN　:周波数スパン
REF　:基準レベル
SWP　:掃引時間
DET　:検波モード
RBW　:分解能帯域幅
VBW　:ビデオ帯域幅
SCALE　:表示スケール
LmtLv　:リミットレベル
TRACE　:スペクトルデータ点数

波形データ部

1行目が見出し(周波数)、
2行目以降が測定日時と波形データです。

	A	B	C	D	E	F	G
1	CF	1.0000GHz					
2	SPAN	20MHz					
3	REF	10.0dBm					
4	SWP	30ms					
5	DET	SMP					
6	RBW	100KHz					
7	VBW	30KHz					
8	SCALE	10dB/D					
9	LmtLv	0.0dBm					
10	TRACE	1001					
11	DATE	TIME	9.90E+08	9.90E+08	9.90E+08	9.90E+08	9.90E+08
12	2018/3/7	14:42:08	-20.4	-22.4	-27.6	-35.6	-46.4
13	2018/3/7	14:42:09	-61.2	-60	-60	-62	-69.6
14	2018/3/7	14:42:10	-87.2	-76.4	-72	-71.2	-71.2
15	2018/3/7	14:42:11	-77.2	-79.6	-78.4	-74.8	-71.2
16	2018/3/7	14:42:12	-65.2	-64.8	-64.4	-64.4	-65.2
17	2018/3/7	14:42:13	-73.2	-68.8	-66.4	-65.6	-65.6
18	2018/3/7	14:42:14	-66	-64.4	-64	-65.2	-67.2
19	2018/3/7	14:42:15	-63.6	-62.8	-63.2	-64.8	-70
20	2018/3/7	14:42:16	-64.4	-64	-64.8	-66.4	-70.4

お見積り、ご注文、修理などのお問い合わせは下記まで。
記載事項は事前の断りなしに変更することがあります。

MICRONIX

マイクロニクス株式会社

〒193-0934　東京都八王子市小比企町2987-2
TEL：042-637-3667
FAX：042-637-0227
E-mail：micronix_j@micronix-jp.com
URL：http://www.micronix-jp.com